

2026-27年度 地区委員会活動計画

会員増強部門

クラブ拡大・会員増強委員会／地区新クラブ結成小委員会



委員長

吉田 賢治

八戸南RC

PELSの分科会で、「ロータリアンを増やして基盤を広げよう」というテーマで皆さんにお話しさせていただきました。

- ①皆さんと共に活動する仲間を増やしましょう。
- ②クラブに入った会員は皆仲間です。一人で困っていたり悩んでいる仲間を助けて当たり前。ロータリアンというより人として仲間に声を掛け、悩みや話を聞き良い方向に向かいましょう
- ③新会員候補の方々にも時間や場所等いろいろな制約があったりします。クラブとしての柔軟な考え方（法人会員・家族会員・特別会員等）も取り入れてもらいたい。
- ④同じような制約の方々が集まれば、またこの奉仕をやりたいといった方が集まれば特化型のクラブ（衛星クラブ）で活動することができます。

まずはクラブ会長・幹事の方々のやる気・熱量にかかっているといっても過言ではありません。

皆さんの頑張りが2830地区を支えています。皆さんあつての2830地区です。

皆さんが頑張るために私たちはおりますので、困った・できない・やめようなど迷ったときには会員増強委員会に連絡ください。一緒に悩み一緒に汗をかき一緒に笑えるように活動していきましょう。これから一年間よろしく願いいたします。

会員増強部門

地区会員参加促進小委員会



委員長

吉田 立盛

八戸南RC

会員と参加者の積極的参加を促進するために、クラブでの体験をよりよくするためのリソース（資源・財源）を推奨・推進します。

後から報告を聞いて、行きたかった・聞いてみたかったという事を少しでもなくすため各クラブの活動予定を把握できるものを提供していきたいと考えています。

- ①地区内各クラブの活動情報を他クラブが共有できる活動カレンダー
- ②各グループでクラブの活動カレンダー
- ③他地区の特徴ある奉仕活動の情報提供

会員の皆さんがクラブ・グループ・地区の一翼を担って活動するその思いに少しでも協力できる形を作っていきたいと考えております。一年間よろしく願いいたします。

会員増強部門

地区入会促進小委員会



委員長
石川佳共子
青森RC

ロータリー章典が改訂され、新しく「会員入会促進小委員会」を担当します。

ロータリーの目的

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

とあります。

みなさまのクラブに知り合いが広まり、より良い奉仕活動の機会を増やすために宜しくお願いします。

活動計画

- 入会候補者のリストアップ
- 候補者に参加いただきクラブやロータリーを紹介する
- 各クラブのPR動画作成

もっともっとロータリーを楽しみましょう。

公共イメージ向上部門

公共イメージ向上委員会



委員長
高瀬 英人
五所川原RC

国際ロータリーと各ロータリークラブの認知度とイメージの向上を目指します。ロータリークラブが、地元地域の為と世界の為に行っている「良いこと」を広告媒体を使って、一般の人にも広く認知してもらうことです。

地区委員会や各クラブで、一般の人が参加できる行事、イベント、ボランティア活動等がある時には、ぜひ、地区事務所やガバナー補佐経由で早めに情報を当委員会に連絡ください。参加者募集の告知も協力していく予定です。

主な活動方針

- 1、地区や各ロータリークラブが、SNSやホームページ等を使い、活動内容を内外に発信し、情報共有することを推奨します。
- 2、各ロータリアンが行事やボランティア活動などに参加する時は、ロータリーバッジやスタッフジャンパーなどで、ロータリークラブ会員であることをPRすることを推奨します。(ビジュアルアイデンティティの強化)
- 3、ロータリーの各奉仕活動の分野の行事等の開催を推進し、内外への告知に協力する。(チラシ・ポスター掲示やTV・ラジオのCMなど。)
- 4、クラブや会員がロータリーの公共イメージ向上の為に、マイロータリーのサイトにあるアイテムを利用することを推奨します。(画像・ビデオ・アプリ・ロゴ入製品等)
- 5、各クラブがいろいろな活動を企画する時には、なるべく地域の活性化団体・町内会・学校関係・マスコミ関係等と連携して、ロータリアン以外のより多くの人達にも認知されるような運営を推奨します。

社会奉仕・職業奉仕部門

社会奉仕・職業奉仕委員会



委員長
長谷川 通
五所川原RC

【基本方針】

社会奉仕・職業奉仕を通じて地域社会への貢献を深め、会員増強および退会防止に繋がる魅力ある奉仕活動を推進します。特に本年度は、長年培ってきた教育機関との連携をさらに拡大・深化させ、地区内における地域バランスの取れた人材育成と、ロータリーの公共イメージ向上を目指します。

【主要事業計画】

1. 「じよっぱり経済学」の実施（青森大学教育連携事業）
 - 2027年4月より、第12回目となる講義を開講予定です。
 - 経営者であるロータリアン自らが講師を務め、学生や一般市民へ職業奉仕の精神と職業倫理を直接伝えます。
2. 「南部版経済学」の新規開講（2026年9月予定）
 - 岩岡年度より準備を進めてきた「南部版」を、いよいよ本年9月よりスタートさせます。
 - 地域の経済・教育・雇用が循環する環境づくりを、ロータリーの職業奉仕実践の新たなモデルとして展開します。
3. 例会プログラムへの反映と月間行事の推進
 - 10月の「社会奉仕月間」および1月の「職業奉仕月間」に合わせ、各クラブでのフォーラム開催を推奨します。
 - 講義の受講が「出席扱い（メイクアップ）」となる制度を活用し、会員の積極的な参加を促します。
4. 社会奉仕・職業奉仕活動の実情調査
 - 各クラブが継続的に実施している奉仕活動の実績を把握するための調査を実施します。

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会



委員長
工藤 真人
青森RC

ロータリー財団の使命

「世界でよいことをする（Doing Good in the World）」

地区財団委員会の重点項目

- ①年次基金への寄付推進
ロータリーの奉仕活動を支える基盤。クラブ内での理解促進と協力をお願いします。
- ②グローバル補助金・地区補助金の活用
クラブの奉仕活動を地域や国際社会へ広げるため、補助金事業への積極的な挑戦を推進します。
- ③ロータリーカードの活用
日常のカード利用が財団への寄付につながる仕組みです。クラブ内での周知をお願いします。
- ④ポリオ根絶活動への支援
ロータリーの歴史的使命であるポリオ根絶の達成に向け、継続的な支援をお願いします。
- ⑤ロータリー財団への理解の促進
例会・クラブ委員会などを通じ、財団活動の意義を会員へ伝えていただきたいと思ひます。

地区財団委員会は、各クラブの活動を全力で支援いたします。
ロータリー財団を通じて『世界でよいことをする一年』を共につくってまいりましょう。

ロータリー財団部門

地区補助金委員会



委員長
西尾 和樹
八戸南RC

2026-27年度、地区補助金委員会委員長を務めさせていただきます、八戸南RCの西尾です。地区補助金の活用・管理・運営につきまして、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地区補助金は、地域社会のニーズに応えるための、比較的規模の小さい短期的な活動を支援する制度であり、地区および各クラブの多様なプロジェクトに柔軟に活用することができます。

主な対象事業は以下のとおりです。

- ・人道的プロジェクト（奉仕活動のための渡航、災害復興支援など）
- ・奨学金（教育機関の種類や地域、期間、専攻分野の制約なし）
- ・青少年プログラム（青少年交換、RYLA、ローターアクト、インターアクト等）
- ・職業研修チーム（専門職業人による研修の実施・受入）

各クラブは、地区へ直接申請することで、さまざまな奉仕プロジェクトに地区補助金を活用することが可能です。

地区補助金委員会では、クラブからの申請内容を適切に管理・確認し、資金配分方針に基づき支給対象プロジェクトを決定するとともに、円滑な事業実施を支援してまいります。

また、年度開始前にクラブからの補助金申請（新規プロジェクト）を受け付け、審査・決定後、東京事務所へ一括申請を行います。

すべてのプロジェクトが承認された後、各クラブへ補助金を送金し、事業完了後には報告書の提出をお願いしております。

本制度は、申請から実施、報告まで年度をまたぐ事業となります。円滑な運営のため、会員の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

地区補助金を活用することで、各クラブの奉仕活動の活性化に加え、活動内容を地区内外およびロータリアン以外へ広く発信することにより、会員増強や公共イメージの向上にもつなげていきたいと考えております。

1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ロータリー財団部門

グローバル補助金委員会



委員長
伊東 睦
三沢東RC

当地区は、タイ国の3330地区を実施国として水事業を行ってきました。当地区は、援助国として行ってきていて、数々の輝かしい実績を残してまいりました。近年は、ロータリーの友にもあるように、日本国内外でも同じ事業を行っており、少し考え方を考えまして、国内の事業も考えては如何かなと考えております。例えば、近年陸奥湾の海水温上昇によりホタテの養殖などにも深刻なダメージを受けています。持続可能な漁業と生物学的に健全な水産業の支援が具体的な対象に含まれています。これは、グローバル補助金授与のガイドラインに示されていることから近い将来に向けて当地区のグローバル補助金事業立案を考えております。当地区の皆様にもご支援を賜りたいと思っております。

ロータリー財団部門

資金推進委員会



委員長
櫛引 大樹
青森RC

2026-27年度の活動方針・計画

1. 寄付金ゼロクラブを0へ！
2. 2830地区内クラブでのロータリークラブカードの普及

クラブ会長へのお願い

1. 年次基金がどう使われているかを自クラブ内にて周知してほしいです。
2. 自クラブでロータリークラブカードを作成してほしいです。
3. クラブでの支払い（人頭分担金等）をロータリーカードにて支払いをお願いします。

ロータリー財団部門

平和フェローシップ・奨学金・学友委員会



委員長
竹島 直樹
十和田東RC

2026～27年度の活動方針・計画

1. 平和フェローシップロータリー平和センター提携大学で学べ、ロータリーから全額支給の奨学金が授与されます。7校の大学と提携して6つのロータリー平和センターが運営されています。各ロータリー平和センター提携大学には、平和と紛争解決に関連する国際問題研究のさまざまな側面に焦点を当てた独自の教育課程があります。学科は大学によって異なり、平和研究、紛争解決、国際関係、国際開発対策、ジャーナリズム、環境問題、公衆衛生、教育、行政学およびその他多種が含まれます。このプログラムの目的は、ロータリー平和フェローに広範な学問的経験を提供することです。
2. グローバル補助金奨学金 4年制大学を卒業し海外へ留学を希望する方にロータリー財団の奨学金を提供し支援します。グローバル補助金の最低予算は30,000ドルであり、国際財団活動資金（WF）の最高授与額は400,000ドルです。補助金提唱者は、地区財団活動資金（DDF）、現金、および／または冠名指定寄付と恒久基金の利用可能な収益を組み合わせてグローバル補助金に充てることができます。
3. 地区補助金奨学金 高校卒業予定者に大学へ進学する際の奨学金を支給します。原則として、当地区内に在住する学生のなかで、次代を担う優秀な若者であって、かつ経済的に困窮している学生を支援する目的で奨学金制度を運用します。奨学金支給期間は、教育機関を卒業するまでの期間のうちの1年間とします。

クラブ会長へのお願い

平和フェローシップ、グローバル補助金奨学生、地区補助金奨学生を募集しますので、適任者がおりましたら推薦をお願いいたします。

ロータリー財団部門

ポリオプラス委員会



委員長

木皮 美賀

五所川原イヴニングRC

本年度の事業計画としまして

- ①10月11日～12日 地区大会 ポリオ投与活動写真展と募金活動
- ②10月25日 ポリオディーにむけて、映画「じょっぱり」の上映会
藤崎文化センターで開催。五十嵐監督の出身地であることから、藤崎町で開催することとしました。是非、全クラブの方にご参加いただき、一般の方にも見ていただくことで、ロータリークラブの活動を広報したい。
- ③2027年1月29日～2月3日 パキスタンにてポリオワクチン投与活動
最低10名の参加を募集いたします。(但し、世界情勢により、中止になる可能性もあります。)
- ④ポリオプラスソサエティーを地区で50名
- ⑤各クラブでポリオ募金箱を例会時や、行事時に設置していただき、日頃から募金活動を意識していただき、協力お願いいたします。
- ⑥例会の卓話に是非お呼び下さい。ポリオプラス委員で出向かせていただきます。
地区でポリオ活動に温度差はあるが、2830地区では20年前からポリオ活動は盛んであり、これを大切に継続していきたい。

国際奉仕・青少年交換部門

国際奉仕委員会



委員長

柴田 文彦

むつ中央RC

ロータリーは、世界中の地域社会に意義ある変化をもたらすことを使命としています。当地区の地区委員会活動、各クラブの活動の多くに国際的活動があります。特に地区委員会の中での活動に対して、1. 主催として企画立案活動、2. 共催として支援、3. 参加しての協力の3つを新年度の活動として取り組みたいと考えました。

1. 主催として企画立案活動
 - ・国際大会推進委員会 バルセロナ国際大会 2027.6.26～
2. 共催として支援
 - ・インターアクト委員会 アクトの翼 台湾 2026.12/24～
3. 参加しての協力
 - ・ポリオプラス委員会 パキスタンでのポリオワクチン投与活動 2027.1.30～
映画「じょっぱり」藤崎町 2026.10.26
 - ・RYLA 青森公立大学 2026.6.6～

現在把握している以上の活動で計画しましたが、他の委員会からの情報、要請があれば積極的にアプローチし支援し活動の幅を広げ、活発化を目指します。

各クラブにおかれましては、クラブの奉仕活動で国際奉仕に関わりのあるような場合は当委員会に一報頂きますと何らかの活動の視野が広がるようなことができれば良いと考えます。また、卓話の要請があれば、情報発信させていただきます。



委員長

白鳥 五大

青森RC

2026-27年度の活動方針・計画

1. 派遣候補学生の募集と選定
2. 派遣候補学生の教育、派遣可否の判断
3. 派遣候補学生とスポンサークラブの引き合わせ
4. スポンサークラブが実施するホストファミリー選定・教育の援助
5. 交換学生のマッチングと、交換準備から交換終了まで派遣先国窓口との調整
6. 県内在住及びRID2830派遣ROTEXとの関係維持
7. クラブ及び地区委員会委員の教育（YESS、RIJYEM保険、4Dなど）
8. RIJYEM⇔RID2830⇔スポンサークラブの関係維持
9. 短期留学派遣の研究
10. 2027RIJYEM愛知大会参加

クラブ会長へのお願い

1. 派遣学生やホストファミリーの紹介
2. 各種行事への交換学生の付き添い
3. 派遣学生の危機管理対応



委員長

峯 雅夫

むつRC

ロータリアンは、ローターアクターから若いエネルギーや、新しいアイディア、労力を得ることができます。ローターアクターは、ロータリアンから深い知識や経験を学ぶことができます。昨年度ローターアクト地区代表の想いをローターアクト委員会他地区委員会、スポンサークラブが支援して、映画「じょっぱり」むつ上映会は大成功することができました。

ローターアクトクラブが効果的に活動できるかどうかは、スポンサーロータリークラブの指導、支援、積極的参加にかかっています。また、ロータリー地区からの支援にもかかっています。(国際ロータリー章典第12条)

このため、地区ローターアクト委員会は、地区内スポンサーロータリークラブとローターアクトクラブ推薦の委員が協力して、スポンサーロータリークラブと連携して、ローターアクトクラブの効果的活動のために支援する必要があります。スポンサークラブの協力が必須です。

1. ローターアクト地区大会の開催を目指して、地区内ローターアクトクラブ、スポンサークラブが情報交換、意見交換するオンライン会議を開催します。
2. RYLAへの参加、ポリオ募金活動、地区大会への参加を奨励します。
3. ローターアクト全国大会参加費用を支援します。

クラブ会長へ

ローターアクトクラブとの共同プロジェクトや親睦活動に参加するよう呼びかけましょう。



委員長
伊藤 幸生
青森RC

インターアクト委員会では、青少年が奉仕活動や交流を通して学び、成長し、地域や世界とのつながりを感じられる機会を大切にしながら、各インターアクトクラブの活動を支援してまいります。

2026-27年度は、学校・提唱ロータリークラブ・関係者の皆さまと連携し、次の4つの事業を中心に取り組んでまいります。

1. インターアクト年次大会の開催

地区内のインターアクトクラブのメンバーが一堂に会し、それぞれの活動を発表し合い、交流を深める大切な機会として、2026年9月12日（土）にインターアクト年次大会の開催を予定しています。

年次大会を通じて、日頃の活動を振り返るとともに、仲間同士が刺激を受け合い、今後の活動への意欲につながる場となるよう準備を進めてまいります。

2. インターアクトの翼（受け入れ）事業の実施

インターアクトの翼（台北・羅東）および年次大会への対応を通じて、国際交流の機会を大切にまいります。

台北・羅東とのつながりを大切にしながら、交流を通して友情と相互理解を深め、参加する生徒たちにとって視野を広げる貴重な学びの機会となるよう支援してまいります。

3. 卒業年次のインターアクターへの顕彰

在学中に積極的に奉仕活動へ取り組んできた卒業年次のインターアクターに対して、卒業時に顕彰を行います。

日々の活動への努力や思いを形としてたたえることで、本人にとって励みとなるだけでなく、後輩たちにとっても大きな目標となることを願っています。

4. 奉仕活動や交流事業のサポート

地域に役立つ活動や交流の機会を支援し、生徒たちが参加する喜びや成長を実感できる場を広げてまいります。

各クラブの活動がより充実したものとなるよう、提唱クラブや学校の先生方と連携しながら、無理なく継続できる形での支援を進めてまいります。

インターアクト活動は、若い世代が人とのつながりを学び、奉仕の心を育み、自ら行動する力を身につけていく大切な場です。

今年度も、それぞれの学校や地域に根ざした活動を尊重しながら、生徒の皆さんが前向きに取り組める環境づくりに努めてまいります。

すべては、インターアクターの成長と未来のために。



委員長
藤川 聡
青森RC

RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）は、青少年のリーダーシップを育成する重要な事業です。

「リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい…。」そんな考えを実現するための第一歩となるのがRYLAです。しかしながら、初めからリーダーになることを志して参加する若者は決して多くはないでしょう。RYLAを通じて一人ひとりの内に秘められた、あるいはまだ気づいていないリーダーシップを引き出し、「主体性・協調性・誠実さ・行動力」を発揮できるようになる機会を提供することを目的とします。

本年度は、実践型研修の充実を継続し、一泊二日のプログラムにおいてグループワークや課題解決型演習を中心とした構成とする予定です。

また、修了者が次年度にはスタッフとして関わりたいと思える魅力あるプログラムを企画し、それがロータリークラブへの理解を深めるきっかけとなり、未来のロータリアン育成の一助となることを目指します。

さらに、ロータリーアクトクラブとの連携も強化し、継続的に世代間のつながりを大切にしながら、地域に根ざした人材育成の好循環を生み出すことを目標とします。

米山記念奨学部門

米山記念奨学委員会



委員長
佐藤 一尚
青森RC

活動方針・計画

1. 寄付金について
一人あたり普通寄付：3,000円、特別寄付12,000円を目標とする。
2. 米山奨学生との交流について
世話クラブ行事への参加促進、カウンセラー・ロータリアンとのコミュニケーション促進を図る。卓話訪問の実施。
3. 優秀な人材の選考
指定校希望大学との情報共有を図る。
面接選考会を実施し、米山事業の目的に合致した人材を選考する。
4. 主な行事予定について
地区内クラブ卓話訪問（随時）
米山梅吉記念館訪問旅行（未定）
面接選考会（12月を予定）
修了証書授与式（3月を予定）
新学年度オリエンテーション（4月を予定）
卓話講習会（5月を予定）

クラブ会長へのお願い

1. 寄付金額達成へのご協力をお願いします。
2. 卓話訪問など米山奨学生との交流をご検討ください。
3. ロータリー米山記念奨学会HPなど情報のご活用をお願いします。
4. 米山奨学生のお世話をご検討ください。

エンゲージメント向上部門

エンゲージメント向上委員会



委員長
源新 育子
八戸北RC

2026-2027年度 エンゲージメント向上委員会活動計画

昨年10月「DEI」の文言がロータリー章典から変更されました。

地区に「DEI推進委員会」が誕生してまだ2年経っておりませんが、その間、多様性や公平性の理解により、DEIは組織としての受容力を高める大切な基盤となったことは明らかです。今後はその基盤をさらに進化させ、「エンゲージメント向上委員会」として活動して参ります。

これは会員一人ひとりが主体的に係わり続けたいと感じられる状態、組織を構築することが求められることを意味します。

エンゲージメントの本質的な考え方は

- ①**共感**（この組織の考え方や目的に納得している）
- ②**愛着**（ここが好きで、ずっと係わり続けたいと思っている）
- ③**主体性**（自分の意思で、何か貢献したいと思っている）の3つと言えます。

価値観が多様化し、目まぐるしく変化する日常において、人は義務だけでは動きません。よって「人の心に火をともし」ことが重要だと考えております。

会員増強委員会が新クラブや会員増強推進がメインであるとすれば、「エンゲージメント向上委員会」は、「心から、自分の意思で繋がっていたい」と思う帰属意識を育むこととなります。結果として退会防止や仲間を引き入れたいと思う土壌をつくる事にもなります。次年度インカRI会長メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」の実現に近づけるためにも、成田ガバナーエレクトの地区スローガン「CHANGE TO GROW—自ら変化して成長しよう」を意識しながら、「ロータリアンで良かった」と思えるような、クラブや会員の意識強化を図るための実働的な活動をして参ります。

活動目標

1. 各クラブへのアンケートの実施と分析（クラブへフィードバック）
2. アンケート結果の共有と協議（ガバナー・ガバナー補佐・各委員会他）
3. クラブへの資料や情報提供（必要があれば卓話、クラブ訪問など）

RLI委員会



委員長

三浦 真介
弘前RC

三大研修等でもRLI形式が取り入れられるようになり、RLIへの馴染みや知名度も幾分か高まってきたのかもしれませんが、積極的な参加意識はもとより、ファシリテーター人材の拡充にもなお高いハードルが今なお存在し続けてもいることは、委員長3年目の身として否応なく自覚するとともに、そのためにはまず入口を広げることから始めていかななくてはならないと心がけつつの日々を送ってまいりました。

そうして迎えた本年度はまずRLI研修本番に至るよりも前に、ファシリテーター研修の機会を増やし、各クラブで能力を持って余していたり手持ち無沙汰でいたりする会員の参入をもう一段強く呼びかけてまいりたい所存です。

確かにファシリテーションにはルールがあり、経験等に基づく実力差も存在するわけですが、個性や試行錯誤の過程は肯定的に許容していく必要がありますし、クラブに会員増強が不可欠であるように、ロータリアンの次なるステージとして更なる勧誘と拡大を図り、切磋琢磨の機会を求めていく必要性を感じています。

ファシリテーターが心がけるべき最大の規範として、自らが話しすぎず、出過ぎないという項目があります。

仏教用語に置き換えれば自未得度先度他であり、既に知っていたり見えていたりすると思っている部分も敢えて直視せず、他者の視点に委ねることによって自覚的な気付きを導き、また自身もそのことによって既知と思っていた事柄の中に新たな角度からの気付きを得るという化学反応へとも繋がることになるのです。

またRLIはパートIIIまでの全18セッションをもって卒業となっていますが、それで終わりせず、幾度となく基本に立ち戻ってリピートできるような設えや工夫もまた考えてまいりたいところです。

こちらもまた仏教風に言うならば悟後の修行となるでしょうが、ロータリーも人生も極めたと感じた瞬間からの更なる続きがいつも待っているのです。

ロータリーの友地区代表委員



工藤 孝子
弘前東RC

この度、ロータリーの友地区代表委員を拝命致しました弘前東ロータリークラブの工藤孝子です。「ロータリーの友」の購読を推進すると共に誌面に掲載される奉仕の素晴らしいストーリーや地区の情報を、より多くの会員の皆さまに、活用頂けるよう務めたいと思います。特にデジタル版の活用を促し楽しいロータリーライフのヒントになる情報発信に務めたいと思います。

「ロータリーの友」は、ロータリーの知恵と情報の宝庫です。クラブの行事や、新しいプロジェクト等等、「ロータリーの友」のアーカイブを見る事で、ヒントにつながる事もあります。私がクラブ会長の時、卓和の時間を延長して「認知症サポーター講習会」を開催したのも、「ロータリーの友」に掲載されていた、記事がヒントになりました。「ロータリーの友」は、RIの方針や国内外のロータリアンにロータリークラブの活動を紹介することにより、ロータリー活動に対する興味を高め親睦を図り、ロータリーの精神の養成、ロータリー活動の発展に寄与する事を、発行の目的としています。

積読だけではもったいないと思いませんか？クラブの活性化のヒントが、その中に、あるかも知れません。是非是非クラブや地区の行事を投稿して下さい。3月中旬に東京で「ロータリーの友」の新旧合同会議が予定されています。そこでいろいろ、勉強出来ると思います。

「ロータリーの友」に掲載されるコツなどについては、充分承知されている事と思いますが、もう一度皆さまにお伝えして行きたいと思っています。

一年間宜しくお願い申し上げます。